

言の葉大賞® 受賞作品が本学学生の作画で紙芝居に コロナ禍で大事にしたい人のつながりをテーマに 世界KAMISHIBAI(紙芝居)の日(12/7)に全国発売 完成記念贈呈式を12/9(木)に学園前キャンパスで実施

帝塚山大学(学長:蓮花一己 所在地:奈良市帝塚山7-1-1)教育学部こども教育学科の徳永加代准教授(専門:国語科教育、NIE)のゼミに所属の学生が、一般社団法人言の葉協会(代表理事:佐藤 典司 所在地:京都市中京区寺町通二条上る西側要法寺前町)と産学連携で制作した紙芝居を、世界KAMISHIBAI(紙芝居)の日である12月7日(火)から販売します。

本紙芝居は、(一社)言の葉協会が全国の教育機関に向けて実施する「言の葉大賞®」のこれまでの受賞作品から選抜した5作品を原作に制作したもの。子どもたちの「聞く力」「共感力」「想像力」「国語力」「文章力」を育むだけでなく、コロナ禍だからこそ大切にしたい人と人との触れ合いをテーマに、絵本専門士でもある本学の徳永准教授が原作を選びました。作画を担当したのは、徳永ゼミの学生を中心とした6人。イラストは色鉛筆で描かれ、担当学生それぞれの個性が生きるユニークな5作品に仕上がっています。

紙芝居の発売を記念して、絵を描いた本学学生に完成品が贈呈されることとなり、下記のとおり贈呈式を実施する運びとなりました。当日は学生による紙芝居の読み聞かせのお披露目する予定です。

日時:2021年12月9日(木)

13:00~13:30

場所:帝塚山大学学園前キャンパス
18号館1F子育て支援センター
(奈良市学園南3-1-3)

出席者:

西尾この実、古谷初奈、山田明日香、吉村舞、平井瑠華、原小雪(帝塚山大学 教育学部 3年生)、徳永加代(帝塚山大学教育学部 准教授)、蓮花一己(帝塚山大学 学長)、言の葉協会関係者 (ほか)



「言の葉大賞®」とは

「恋文大賞®」として2010年に始まり、2015年に一般社団法人 言の葉協会を設立されたのを契機に「言の葉大賞®」に。全国の小学校・中学校・高等学校より、毎年のテーマに合わせた大切な人への思いや強く感じた気持ちを自分の言葉で綴る作品を募集し、その優秀作品を言の葉大賞として顕彰している。

貴社メディアにおかれましても、ぜひ趣旨をお汲み取りいただき、取材ならびに報道のご協力をよろしくお願い申し上げます。

**取材および
内容に関する
お問い合わせ**

帝塚山大学 入試広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel:0742-48-9149 E-mail:koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp(担当:鈴木)

商品名 言の葉紙芝居シリーズ①

監修 徳永 加代(帝塚山大学 教育学部 准教授)、一般社団法人言の葉協会

①『ふたつのかべ』

原作 能美 みな (小学1年生)

第11回言の葉大賞®小学生部門最優秀賞受賞作品

絵 西尾 この実 (帝塚山大学 教育学部 3年生)

②『0点取ってもええんやぞ』

原作 第8回言の葉大賞®小学生部門優秀賞受賞作品(小学5年生)

絵 古谷 初奈 (帝塚山大学 教育学部 3年生)

山田 明日香 (帝塚山大学 教育学部 3年生)

③『ロボット世界に大事なこと』

原作 第9回言の葉大賞®小学生部門優秀賞受賞作品(小学3年生)

絵 吉村 舞 (帝塚山大学 教育学部 3年生)

④『じいじの時計』

原作 第8回言の葉大賞®小学生部門優秀賞受賞作品(小学5年生)

絵 西尾 この実 (帝塚山大学 教育学部 3年生)

⑤『「どうぞ」と「ありがとう」』

原作 溝淵 俊輔

第8回言の葉大賞®小学生部門優秀賞受賞作品(小学5年生)

絵 平井 瑠華 (帝塚山大学 教育学部 3年生)

原 小雪 (帝塚山大学 教育学部 3年生)

紙芝居サイズ 360mm x 265mm 1作品9場面(枚)ケース入り

販売価格 1作品 2,200円(税込) 5作品をセットで10,000円(税込)

販売元 京都柿本書房(〒604-0915 京都市中京区寺町二条上る常盤木町54

TEL. 075-662-0135 FAX. 075-682-5385)

購入方法 京都柿本書房にFAXで申込み

発売日 令和3年12月7日(火)(世界KAMISHIBAIの日)

取材および
内容に関する
お問い合わせ

帝塚山大学 入試広報課 〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1
Tel:0742-48-9149 E-mail:koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp(担当:鈴木)